

## 令和8年度 第1回 勝山市生活交通地域協議会 会議録

1. 開催日時 : 令和8年5月1日(金) 午後2時～
2. 開催場所 : 市役所3階第1会議室
3. 出席委員 : 下記のとおり※敬称略
4. 欠席委員 : 1名(下記備考のとおり)
5. 傍聴人数 : なし

区分	所属団体及び役職等	氏名	備考
学識経験者	福井大学 講師	浅野 周平	
関係機関	福井運輸支局 首席運輸企画専門官	平井 早苗	随行：加藤輸送担当
	福井県地域戦略部 交通まちづくり課長	中村 智哉	代理：中田参事
	奥越土木事務所 勝山道路課長	多野 幹剛	
	勝山警察署 交通課長	松井 一平	
	勝山市区長連合会 会長	田上 滋良	
	勝山市高齢者連合会 事務局	尾方 則夫	
	勝山市民生委員児童委員協議会 会長	石畝 史	代理：宮塚副会長
	えちぜん鉄道株式会社 取締役 営業開発部長	佐々木 大二郎	
	京福バス株式会社 経営管理部担当 取締役	松田 康弘	
	勝山交通株式会社 代表取締役社長	山内 誠司	
	大福交通有限会社 代表取締役	中村 雅彦	代理：中村専務
	福井県交通運輸産業労働組合協議会	松並 昭憲	欠席
事務局	未来創造課 課長	藤澤 武久	
	未来創造課 課長補佐	須見 大二郎	
	未来創造課 脱炭素・地域交通係長	廣田 篤史	
	未来創造課 主査	織田 隆大	

## 令和8年度 第1回 勝山市生活交通地域協議会

### 1. 議長選出・挨拶

福井大学 浅野講師が議長に選出された。

### 2. 報告

(報告事項1～3について事務局から一括して説明)

#### (1) 令和7年度予算・決算について【資料1】

- ・当協議会は特に予算などは無く、予算について諮る事もなかったが、地域公共交通確保維持改善事業補助金の振込先が「国から協議会」のみとなったため令和7年度に出納が発生している。(これまでは「国から事業者」への振込が可能だった)
- ・地域公共交通確保維持改善事業補助金はそのままコミュニティバス事業者へ振込しているが、事務費等も無いため振込手数料を引いた金額で事業者に振り込んでいる。
- ・当該補助金については、市から事業者に支払うコミュバス運行補助金で収入金として差し引きしているため、振込手数料の分補助金が高くなるので事業者の負担はない。
- ・今後は協議会で予算について諮っていきたい。

#### (2) 市内公共交通の運行実績について【資料2】

- ・えちぜん鉄道全体の実績は令和7年度で405万8,152人であり、開業以来最も多い利用者数で、過去最高であった前年度よりも13万8,836人、約3.5%の増加となっている。月別でみても全体的に前年度よりも多くなっており、日常的にえち鉄を利用する方が多くなっている。
- ・コミュニティバス全体の実績は、令和7年度8万830人で前年度比2,493人、約3.2%の増となっている。
- ・路線ごとの利用者数では、特に勝山駅から恐竜博物館へ向かう「ぐるりん中部」の利用者数が非常に多く、全体の半分近くを締めている。
- ・「北郷予約便」及び「荒土・野向予約便」についても令和6年10月よりフルデマンドバスの運行を開始しているバス路線であるが、両路線とも前年度よりも利用者が多くなっており、デマンドバスが地区の方々に浸透してきていると判断できる。

#### (3) 地域公共交通計画における目標値と現状【資料3】

- ・勝山市では、令和4年度から令和8年度の5年間を計画期間として、地域公共交通計画を策定し、勝山市の目指すべき交通体系を実現するための目標を掲げている。
- ・えちぜん鉄道やコミュニティバスの利用人数関係の目標は、えちぜん鉄道は開業以来の利用者数ということもあり既に目標以上の利用者数となっている他、コミュニティバスも目標を達成している。公共交通カバー率は現況維持を目標としているが、フルデマンド運行の実施によりカバー率は当初よりも向上している。また転出者は、計画策定時の

現況よりは低くなっているが、目標には少し足りていない。公共交通の収支率と公共交通への公的資金投入額については、これらの項目は当初の現況値よりも悪化している。主に高齢化により無料でのバス利用者が増えていることや燃料費等の物価高騰や賃金の上昇等によってバス・鉄道ともに経費が増加していることがこれらの原因と思われる。最後にえちてつサポーターズクラブの会員数について、コチラも当初の現況値よりも低くなっている。コロナの影響で大きく下がった（400台まで下がった）会員数が戻っていない状態。

●えちぜん鉄道 佐々木取締役（運行事業者より補足）

- ・報告のあった数値は速報値で、確定値ではえち鉄利用者は406万人を超えている。
- ・観光客も増えているが、学生の利用が多くなっている。ヘルメットの着用をしたがらない学生が多く、公共交通を利用していると聞いたことがある。

●大福交通 中村専務（運行事業者より補足）

- ・前年度から大きく変わってはいない。大仏や平泉寺へのインバウンドが多くなってきているかなという印象。

●勝山交通 山内社長（運行事業者より補足）

- ・現在北郷と荒土、野向でデマンドバスを運行している。利用者が多くなっているが、概ね決まった方の利用が多い印象。現在は電話での予約のみだが、市内全域でのデマンドバス運行の際は、予約配車システムを入れると聞いている。説明会等を実施して積極的にアプリへの移行出来ると良い。
- ・現状は電話での予約を人力で配車しているが、中々煩雑である。市全域となるとシステムが必須になると思う。

●会員

- ・高齢者の免許返納について、勝山市としてどのように推進しているのか？

●事務局

- ・免許返納とは別に申請が必要であるが、65歳以上の免許返納者の方にはバス無料券を発行している。期限もなく一度申請していただいたらずっと使用できる。
- ・バス無料券発行の手続きは警察でも受付けているので、免許返納の際にワンストップで手続きできる。

●会員

- ・ヘルメットが話題になっているが、ヘルメットの購入補助はあるのか？

●事務局

- ・別の部署になるがヘルメットの購入補助を行っている。

●会員

- ・恐竜博物館へ向かうバスの利用が多くなっているが、えち鉄の利用者も博物館目的の利用者が多い。バスに乗り切れない方も出ると思うが、どのような対応をされているのか

●大福交通（恐竜博物館へのバス運行事業者）

- ・車両が一番大きい車両で運行している。しかし、GWの中日等は取りこぼす方も出るかもしれない。

●事務局

- ・勝山市としても渋滞によるバスの遅れや取りこぼしがあったことは把握している。直近だと明日からのGWでは朝10時の段階で博物館への一般車両入場を制限し、全ての車両をスキージャムへ向かわせ、そこからバスでのパーク&ライドを行う。また、勝山駅に市職員を配置し、取りこぼした方への状況説明等を行う予定。

3. 議題

(1) 勝山市生活交通地域協議会財務規程の変更について【議題1】

- ・財務規定について確認したところ、現状に即していないため変更を行いたい。  
(変更内容は資料のとおり)

●浅野会長より

- ・ご意見、ご質問等について → 質問事項なし
- ・議決について、賛成の方は拍手を → 拍手多数、議決

(2) 令和8年度勝山市生活交通地域協議会の予算及びスケジュールについて【議題2】

- ・通常であれば年2回程度の開催であるが、今年度はAI デマンド配車システムの導入や公共交通計画の策定などがあるため例年よりも開催回数が増える。
- ・交通計画策定のための負担金について市の予算額で記載しているが、計画策定の国庫補助額が想定よりも少なかったため、この金額よりは低くなると思われる。  
(予算額やスケジュールは資料のとおり)

●浅野会長より

- ・ご意見、ご質問等について → 質問事項なし
- ・議決について、賛成の方は拍手を → 拍手多数、議決

### (3) 市内全域でのフルデマンドバス運行について【議題3】

- ・令和9年度から開始される市内全域でのフルデマンドバス運行について改めて概要を説明する。

(概要や運行情報については資料のとおり)

#### ●会員

- ・運行日が年末年始を除くとなっている。現在は全日で運行していると思うが、除かれた理由は何か？

#### ●事務局

- ・これまでの実績を見ても年末年始の利用は極端に少ないことや、運転士の方の働き方改革という点から少しでも負担を減らせればと思い年末年始は除いている。

#### ●会員

- ・運賃やバス停の増設場所についてはどのように考えられているのか

#### ●事務局

- ・バス停の増設箇所はこれから区長会等で各区長へバス停の設置箇所について確認依頼を行う予定である。また、市民の方の運賃についてはこれまでと大きく変わらない200円程度を考えている。なお、観光客等の市外の方は運賃を高く設定する予定。

#### ●会員

- ・市内全域で5台で運行するとのことだが、対応可能なのか？

#### ●事務局

- ・これまでの橋利用実績などを参考に配車システムの事業者等とも協議して、5台あれば対応可能であるとのことだが、実際に運行してみて車両の増台等を検討していきたい。

#### ●会員

- ・恐竜博物館へ向かう観光客もデマンドバスを利用する形になるのか？

#### ●事務局

- ・恐竜博物館へのバスは大福交通が独自に運行している直通便が残るので、コチラに乗車していただく。

#### ●浅野会長より

- ・議決について、賛成の方は拍手を → 拍手多数、議決

## 4. その他

### ●事務局

- ・現在協議会の委員に観光事業者等の参加を検討している。観光客向けの2次交通を今後充実させていきたい考えがある中で、観光客を輸送対象とする場合は観光事業者、観光関係者を構成員に加えることが望ましいと国交省のガイドラインにも記載されている。
- ・現状は誰が参加となるかはまだ決定していないが、事前に報告だけさせていただく。
  
- ・その他に意見・報告などは無し。
- ・浅野会長の挨拶の後、勝山市生活交通地域協議会終了